

**所沢市市民医療センター経営強化プラン
令和 7 年度 実施状況点検・評価報告書**

1 経営指標に係る数値目標の評価区分

所沢市市民医療センター経営強化プラン（以下「本プラン」という。）は、令和 4 年 3 月に総務省より示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン（以下「ガイドライン」という。）」に基づき、令和 6 年度から令和 9 年度までの計画として、令和 6 年 3 月に策定されました。

本プランの経営指標に係る数値目標について、令和 7 年度の達成状況の評価を次の評価区分において行います。

評価区分	判断基準・評価の視点
A	目標達成
B	目標値には十分達しているが、課題はある。
C	ある程度成果は出ているが、目標を下回っている。 （あるいは近似値で課題が残されている。）
D	目標未達成（目標を大幅に下回っている。）

2 経営指標に係る数値目標の点検・評価結果

経営指標に係る数値目標は、ガイドラインに基づき個々の公立病院において定めています。令和 7 年度の数値目標と実績は次のとおりです。詳細は 4 ページ以降に記載しています。

令和 7 年度

項目	数値目標	実績	評価区分
(1) 経常収支比率	105.4%	83.6%	D
(2) 修正医業収支比率	82.2%	71.5%	D
(3) 病床利用率	70.0%	66.3%	C
(4) 人間ドック受診者数	9,845 人	9,138 人	C
(5) 給与費対修正医業収益比率	74.3%	87.5%	D

3 令和 7 年度 市民医療センターの取り組み

(1) 診療

入院については、引き続き、近隣の急性期病院や介護施設と連携を深め、積極的に入院患者を受け入れたものの、前年度の患者数に届きませんでした。

外来については、年間を通して、インフルエンザや溶連菌といった感染症の罹患者数が少なく推移し、特に、小児科の外来患者数は、前年度と比較して大幅に減少しました。

なお、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の突発的な流行に備えて、発熱外来を常時設置しています。

(2) 再整備事業の推進

令和 5 年度に策定した所沢市市民医療センター再整備基本計画に基づき、市民医療センターの運営を継続しながら現在地での建て替えを行うため、新病院建設工事、現病院解体工事及び外構工事にかかる実施設計を行いました。

なお、所沢市議会の令和 8 年 2 月定例会議において、再整備事業に関する予算案が否決されました。その後、令和 8 年 6 月には再整備事業について審議するため、市議会に保健医療特別委員会が設置されました。今後、再整備事業は市議会及び市民の意見を聞いて進めることとなります。

(3) 医療従事者の確保

医師については、令和 7 年 4 月に小児科医 1 名を採用し、小児科医 4 名、内科医 4 名の合計 8 名で運営しました。また、看護師については、33 名の定員が充足されています。

事業規模から、医師、看護師ともに、現在のところ適正な人数を満たしていると考えられます。

(4) 医療 DX の推進

医療のデジタル化に対応し、電子カルテの導入等により業務効率を高めることを目的として、令和 6 年度と 7 年度の 2 か年をかけ、医療情報システムを構築しました。新たなシステムは、令和 8 年 3 月 30 日から稼働しています。

(5) 収支状況

病院事業収益は、令和 6 年度と比べて 1 億 9,204 万 8 千円の減となりました。このうち医業収益については、入院患者数及び外来患者数が減少したことにより、入院収益及び外来収益が減となりました。また、医業外収益についても、一般会計からの繰入金が減となっています。

病院事業費用は、令和 6 年度と比べて 7,503 万 3 千円の増となりました。これは、物価高騰や人件費の上昇により、職員給与費等の経費が前年度と比べ増となったためです。

収支全体では、3 億 2,585 万 8 千円の純損失となりました。

(6) 目標達成に向けたその他の取組み

- ・医務部と事務部が意識を共有し経営改善を進めるため、毎月の定例会議等を通じて日頃から収支状況を共有しています。
- ・予算編成にあたっては、全職員に対し、経営改善につながる前向きな工夫を意識するよう周知徹底しています。
- ・部門ごとに収支状況を把握し、効果的な収益向上と経費節減の方策を検討しています。
- ・保険診療報酬について、新たに取得可能性のある加算項目の分析を行うとともに、現在取得している項目を確実に取得できるよう、毎月の実務管理を行っています。
- ・県の補助金を活用するため、次の新たな事業を開始しました。
 - ① 夜間小児初期救急受入体制整備事業
 - ② 75 歳以上の搬送困難患者救急受入体制強化事業

4 経営指標に係る数値目標

(1) 経常収支比率

	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023	令和 6 年度 2024	令和 7 年度 2025
数値目標※	103.6%	103.6%	104.6%	104.9%	105.4%
実績	95.6%	109.7%	108.0%	97.2%	83.6%

※令和 4 年度までは「所沢市市民医療センター改革プラン」の数値目標

経常収益に占める一般会計からの繰入金

割合	21.4%	29.0%	23.1%	21.5%	14.7%
金額	393,320 千円	599,313 千円	462,346 千円	397,419 千円	243,368 千円

<実施状況>

経営の健全性を示す経常収支比率は、医業収益、一般会計からの繰入金がともに減となったこと、医業費用が増となったことにより、前年度比 13.6 ポイント減の 83.6%となり、健全経営の水準とされる 100%を下回りました。

<実績の算出方法>

$$\frac{\text{経常収益}}{(\text{医業収益} + \text{医業外収益})} \div \frac{\text{経常費用}}{(\text{医業費用} + \text{医業外費用})} \times 100 = \text{経常収支比率}$$

$$\frac{1,655,271 \text{ 千円}}{1,980,120 \text{ 千円}} \times 100 = 83.6\%$$

意 見
<p>収益、費用ともに悪化しており、経常収支比率は令和 3 年度以降で最も低い数値となりました。再整備事業を控え、健全経営に転化するための原因の分析、具体的な改善策が必要です。</p> <p>病床利用率の向上、人間ドックの拡充、周知・PR の工夫、医療機能の見直し等により、患者数の増減といった外的要因に影響されにくい経営基盤を築いてください。また、一般会計からの繰入金が減となりましたが、妥当な金額を確保するため、予算協議の場において、複数年度の収支や変動要因について丁寧に説明することも必要です。</p>

4 経営指標に係る数値目標

(2) 修正医業収支比率

	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023	令和 6 年度 2024	令和 7 年度 2025
数値目標※	84.1%	84.1%	80.3%	81.7%	82.2%
実績	74.8%	78.0%	83.1%	77.1%	71.5%

※令和 4 年度までは「所沢市市民医療センター改革プラン」の医業収支比率

<実施状況>

経営の収益性を示す修正医業収支比率は、令和 3 年度以降上昇傾向にありましたが、令和 6 年度から入院・外来患者数の減少による医業収益の減及び職員給与費等の経費の増加による医業費用の増が続いており、前年度比 5.6 ポイント減の 71.5%となり、事業に必要な費用を医業収益により賄えている状況とされる 100%を依然下回っています。

<実績の算出方法>

(医業収益－その他医業収益のうちの他会計負担金)

$$\frac{\text{1,363,754 千円}}{\text{1,906,312 千円}} \times 100 = \text{修正医業収支比率 71.5\%}$$

意 見

物価、人件費の高騰に伴う費用の増加は今後も続くと考えられますが、一般会計に頼り過ぎない経営を目指して、主体的な収支改善に努めてください。公立病院として維持すべき機能、市民ニーズを見極め、一般会計からの繰入金について市民の納得を得られるように病院運営に取り組んでください。

4 経営指標に係る数値目標

(3) 病床利用率

	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023	令和 6 年度 2024	令和 7 年度 2025
数値目標※	73.5%	73.5%	61.8%	70.0%	70.0%
実績	53.8%	56.8%	66.6%	68.2%	66.3%

※令和 4 年度までは「所沢市市民医療センター改革プラン」の数値目標

内訳

急性期病床	入院患者数	6,978 人	7,446 人	8,582 人	8,617 人	8,289 人
	病床利用率	50.3%	53.7%	63.9%	65.6%	63.1%
地域包括ケア 病床※	入院患者数	2,653 人	2,708 人	3,359 人	3,582 人	3,576 人
	病床利用率	66.1%	67.4%	74.4%	75.5%	75.4%
合計	入院患者数	9,631 人	10,154 人	11,941 人	12,199 人	11,865 人
	病床利用率	53.8%	56.8%	66.6%	68.2%	66.3%

※地域包括ケア病床は、令和 5 年 8 月、11 床から 13 床に増床

<実施状況>

施設の活用度合いを示す病床利用率は、前年度比 1.9 ポイント減の 66.3%となっています。近隣の急性期病院や介護施設と連携を深め、積極的に入院患者を受け入れたことにより、令和 5 年度以降 66%以上を維持しています。しかしながら、目標値には達していない状況です。

病床利用率の内訳は、急性期病床が 63.1%、地域包括ケア病床が 75.4%でした。

<実績の算出方法>

$$\frac{\text{入院・在院患者延べ数}}{\text{病床数} \times \text{日数}} \times 100 = \text{病床利用率}$$

$$\frac{11,865 \text{ 人}}{49 \text{ 床} \times 365 \text{ 日}} \times 100 = 66.3\%$$

意 見
関係機関との連携や、入院患者を積極的に受け入れる取り組みについては評価できますが、数値目標に届いていません。関係機関からの紹介だけでなく、自院の外来からの入院患者を増やすこと、また、病床の機能転換や実際の運用病床数の見直しも検討してください。

4 経営指標に係る数値目標

(4) 人間ドック受診者数

	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023	令和 6 年度 2024	令和 7 年度 2025
数値目標	—	—	9,720 人	9,845 人	9,845 人
実績	8,409 人	9,014 人	9,176 人	9,235 人	9,138 人

<実施状況>

人間ドック受診者数は、令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い休止・縮小したため一時大幅に減少しましたが、令和 3 年度以降は感染症対策をしながら実施し、増加傾向にありました。しかしながら、令和 7 年度は前年度の実績を下回り、目標値には達していない状況です。

意 見
目標値を下回っていますが、数値目標に対する割合は 92.8%であり、ある程度成果は出ています。ICT 化、無料オプション検査、土曜実施といった、今後に繋がる新たな取り組みを進めていることは評価できます。受診者数が増加しない原因を把握し、近隣医療機関の人間ドックとの差別化や、PR 方法の工夫等、更なる改善に取り組んでください。

4 経営指標に係る数値目標

(5) 給与費対修正医業収益比率

	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025
数値目標※	69.8%	69.8%	74.5%	74.6%	74.3%
実績	76.3%	75.8%	72.5%	79.4%	87.5%

※令和4年度までは「所沢市市民医療センター改革プラン」の職員給与費比率

<実施状況>

医業収益の中で職員給与費が占める割合を示す給与費対修正医業収益比率については、前年度比 8.1 ポイント増の 87.5%となっています。

これは、前年度に比べ、給与費は増となりましたが、医業収益が減となったためです。

<実績の算出方法>

$$\begin{aligned} & \text{給与費} \div \text{修正医業収益 (医業収益 - その他医業収益のうちの他会計負担金)} \times 100 \\ & \hspace{15em} = \text{給与費対修正医業収益比率} \\ & 1,193,611 \text{ 千円} \quad 1,363,754 \text{ 千円} \hspace{10em} 87.5\% \end{aligned}$$

意見
<p>人件費が大きな割合を占めており、現状では病院経営を維持すること自体が難しい数値です。本当に今の人員が必要か、業務の効率化を検討してください。</p> <p>一方で、これまでの人材確保、処遇改善の結果として給与費が増となったとも考えられます。今後の収益増、健全経営化への取り組みとともに改善されると見込まれるため、センター長のリーダーシップのもと、職員が協力して取り組んでください。</p>

5 資料

(1) 収支状況（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

項 目	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025
病院事業収益	1,859,854	2,087,919	1,999,682	1,853,171	1,661,123
医業収益	1,401,653	1,427,521	1,500,375	1,426,246	1,363,754
入院収益	290,623	319,381	367,972	385,266	363,486
外来収益	590,195	595,847	619,737	516,641	487,243
健康検診収益	456,393	473,501	475,443	479,361	471,244
その他医業収益	64,441	38,792	37,223	44,978	41,781
医業外収益	436,318	635,857	499,273	424,125	291,517
受取利息配当金	3	4	16	857	1,680
国・県等補助金	22,604	15,792	15,751	6,551	24,079
他会計負担金	60,320	38,779	57,617	37,613	33,368
他会計補助金	333,000	560,534	404,729	359,806	210,000
長期前受金戻入	17,486	17,212	17,886	15,820	14,394
その他医業外収益	2,905	3,536	3,274	3,477	7,996
特別利益	21,883	24,541	34	2,801	5,852
その他特別利益	21,833	24,541	34	2,801	5,852
病院事業費用	1,925,011	1,884,420	1,855,548	1,911,948	1,986,981
医業費用	1,873,002	1,829,886	1,806,029	1,850,862	1,906,312
給与費	1,068,772	1,081,493	1,088,228	1,132,138	1,193,611
材料費	301,487	257,515	241,643	251,842	239,240
経費	408,675	399,753	385,093	409,941	416,388
減価償却費	91,410	87,680	87,667	52,182	48,267
資産減耗費	860	1,873	1,558	3,046	6,514
研究研修費	1,798	1,572	1,840	1,713	2,292
医業外費用	49,096	51,285	45,767	52,109	73,808
支払利息及び企業債取扱諸費	123	142	110	68	588
消費税	48,973	51,143	45,657	52,041	69,439
雑損失	0	0	0	0	3,781
特別損失	2,914	3,249	3,752	8,977	6,861
過年度損益修正損	2,914	3,249	3,752	8,977	6,861
純損益	△65,157	203,499	144,134	△58,777	△325,858
医業損益（収支）	△471,349	△402,365	△305,655	△424,616	△542,558

5 資料

(2) 入院・外来・健診状況（令和3年度～令和7年度）

（単位：人）

区分	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025
入院	9,631	10,154	11,941	12,199	11,865
外来	35,975	42,731	56,188	47,915	40,321
（内科）	18,604	19,018	19,145	19,315	18,067
（小児科）	12,598	17,832	27,448	21,432	16,678
（内科救急）	50	39	105	86	61
（小児夜間）	1,966	1,677	2,851	2,209	1,679
（小児深夜）	833	859	1,311	1,141	1,076
（休日急患）	1,924	3,306	5,328	3,732	2,760
健康診断	469	445	527	519	385
健康検診	31,230	31,697	31,633	31,442	30,438
（人間ドック）	8,409	9,014	9,176	9,235	9,138
（その他）	22,821	22,683	22,457	22,207	21,300
合計	77,305	85,027	100,289	92,075	83,009